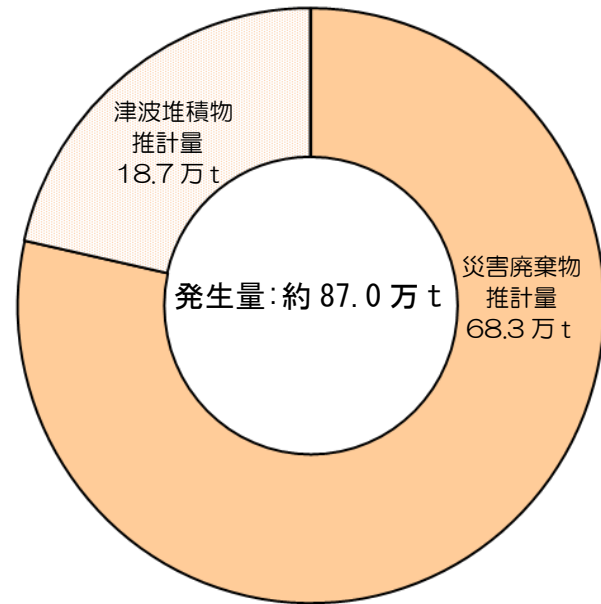


東日本大震災に伴う災害廃棄物等の処理状況について

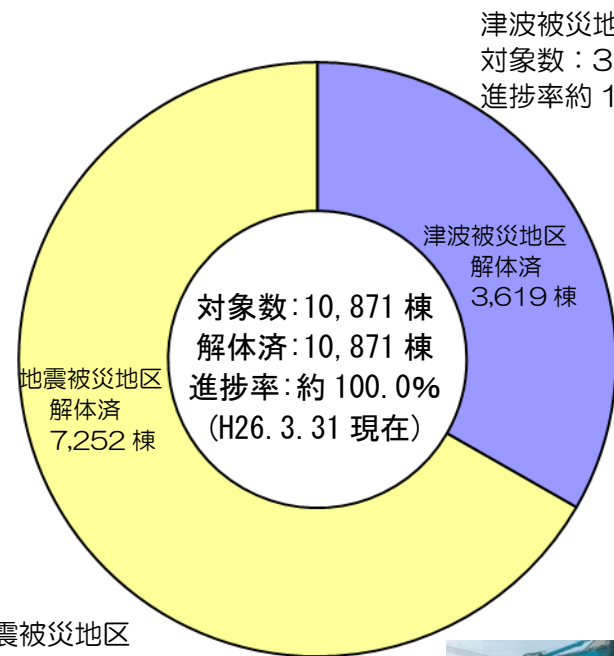
I 発生 災害廃棄物等推計量：約 87.0 万 t

【図 1 発生量推計】



○災害廃棄物…地震により発生したガレキ等
○津波堆積物…津波により発生した土砂等

【図 2 損壊家屋等の解体撤去状況】



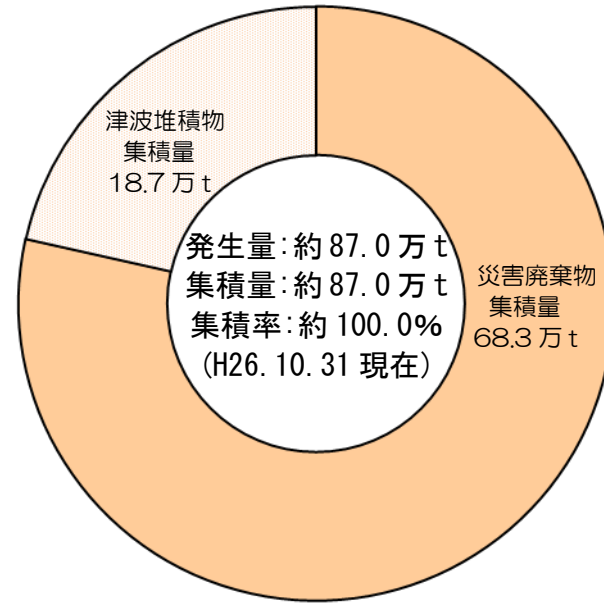
津波被災地区
対象数：3,619 棟
進捗率約 100.0%



※上記に、残置基礎解体撤去含む。

II 集積 累積集積量：約 87.0 万 t (平成 26 年 10 月末現在)

【図 3 仮置場への集積状況】



【図 4 仮置場の状況】

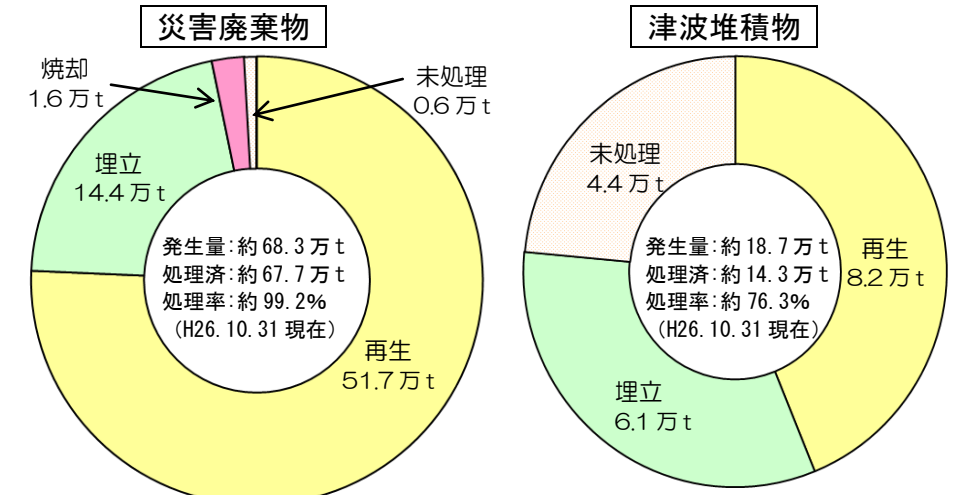


○13ヶ所が処理完了し、うち 12ヶ所について、整地等原状復旧を終え閉鎖済み。



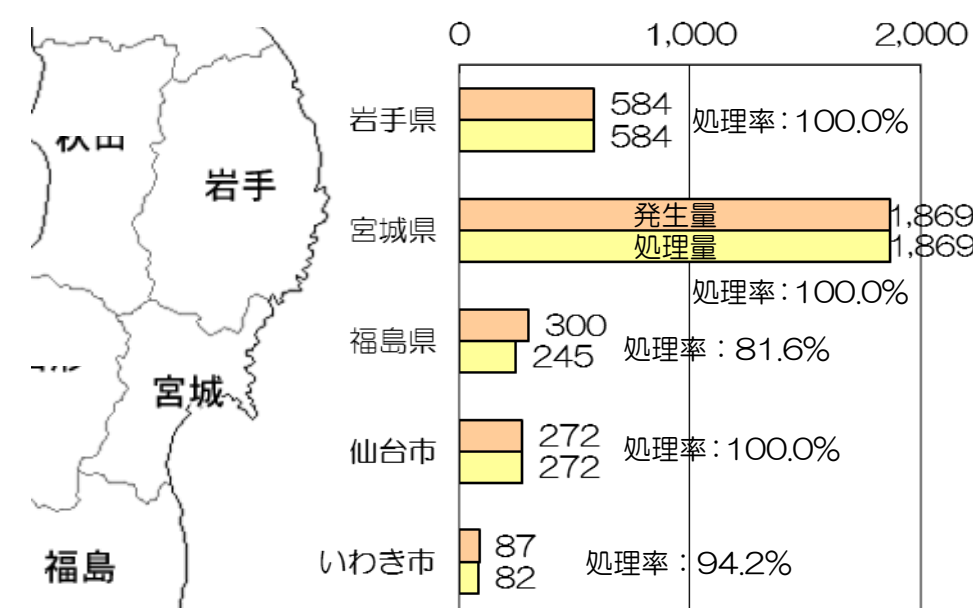
III 処分 処理済量：約 82.0 万 t (平成 26 年 10 月末現在)

【図 5 災害廃棄物等の処理状況】



津波堆積物ふるい分け後の土砂類については、県防災緑地整備の資材として再生利用を図る。

【図 6 被災 3 県の沿岸市町村災害廃棄物等の処理状況】 (万トン)



《H26.10.31 現在 環境省発表》

※現在、推計量について精査中。